



発行所
八尾市消防団
発行責任者
八尾市消防団長
小角道男
八尾市高美町5-3-4
TEL(072)992-0119
FAX(072)992-7722

規律訓練

平成23年8月21日(日)大阪府中部広域防災拠点で、中河内地区支部消防総合訓練が行われました。

この訓練に出場するため高安分団及び山本分団から選抜された31名が6月1日(水)から8月19日(金)までの間の計20回にわたり、八尾市立高安中学校において、規律訓練を行いました。

訓練は、小隊長の山中部長を中心に小隊の編成を行い、第1分隊、第2分隊、第3分隊に分かれ、各個訓練から始まり小隊の行進から退場までの一連の動作を何度も反復訓練しました。

訓練期間中、雨天により中止になる日もありましたが、各自、自宅で復習するなど次の訓練に備えました。

また、暑い中、選手以外の団員も熱心に応援に駆けつけ、本番に向けて消防本部警防課の皆さんの指導に恥じぬよう両分団員が一丸となり、訓練に臨みました。

高安分団 五枝伸浩



中河内地区支部消防総合訓練

訓練当日は、あいにくの雨で急遽、屋内で式典が行われ、来賓の方々からご挨拶をいただき、優良団員の表彰と式典も終了し、いよいよ三ヶ月間の汗のじむ練習の成果を出し切る時がきました。

多くの観客や消防団員の見守る中、小隊長の号令が掛かりました。

私の緊張は小隊長の『八尾市消防団の根性を見せたい!』という掛け声により吹き飛ばされ、今までの訓練を乗り越えて来た自分を信じ、ひたすら選手達との呼吸を合わせることに集中しました。

結果、小隊長の不動の気合の姿でこれまで以上に全員が一枚岩となり見事に大成功を成し遂げることができました。

慰労会で、小角団長から『皆さんは規律だけではなく、分団が一丸となった時に素晴らしい事をやり遂げる力が発揮できることを学ばれましたね。』という言葉を、この訓練の本当の意味を思い、今後の消防団活動に大いに役立つて行くだと確信しました。

高安分団 阪井俊樹



任命式

平成23年4月1日(金)消防団員の任命式が挙行され、27名の新団員が誕生しました。新団員の抱負を伺いました。

氏名(所属)
①職業
②消防団員としての抱負



渡邊 勝規(西郡)
① 自営業
② 地域を守る消防団員として、少しでも貢献できるように努力していきます。



武田 大輔(久宝寺)
① 就職活動中
② 地域の安全を守る消防団の一員として市民から頼られる立派な消防団員になれるように頑張っていきたいです。



藤原 道洋(久宝寺)
① 会社員
② 地域防災のために訓練に励み、消防団員として役に立てるように頑張りたいです。



杉本 伸之(大正)
① 建設業
② 地域の皆様のお役に立てるよう、消防団員として先輩団員のご指導のもと頑張りたいと思います。



中浦 清一郎(大正)
① 営業(製菓業)
② 地元にご貢献できるように頑張ります。



岩井 謙一(八尾)
① 会社員
② 育った地域に対しての恩返しと、社会貢献ができるよう、諸先輩方と頑張っていきたいと思えます。



梶井 健太郎(八尾)
① 会社員
② 先輩方に迷惑をかけないよう活動に取り組み、頑張りたいと思えます。コップンクラブ(タイ語)でありがとう。



影中 義和(八尾)
① 会社員
② 地球温暖化が最近気になり、できるだけエアコンを消したり部屋中の電気を消しまわったり、火事も消しまくりたいと思っています。



中村 優也(西郡)
① 八尾北まちづくりセンター
② 八尾市の一消防団員として、少しでも早く先輩方や地域の人々に認められるよう、頑張りたいと思えます。



松倉 祥宏(南高安)
① 造園業
② 未熟な新人ですが、一消防団員として地域のお役に立てるよう、精一杯努力していきたいと思えます。



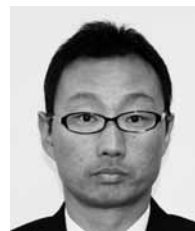
森川 泰典(南高安)
① 農業
② 地域の安全を守るという重要な役割の消防団で、足手まといにならないように、また早く先輩方に追いつけるように頑張りたいと思えます。



松村 正生(南高安)
① 団体職員
② 地域に少しでもお役に立てるよう頑張ります。



堀内 英樹(南高安)
① 会社員
② 地域のために一生懸命、訓練や色々な活動を頑張っていきたいです。



坂本 優(南高安)
① 会社員
② 消防団活動を通じて地元地域に貢献できるように訓練に励み、少しでも先輩方に追いつけるよう精一杯頑張りたいと思えます。



乾 智之(曙川)
① 会社員
② 消防団活動を通じて、地域社会に何か一つでも貢献できるように、頑張っていきたいと思えます。



清水 大輔(高安)
① フラワーショップ
② 消防団員として、諸先輩方の活動を見習い地域のために精一杯取り組んでいきたいと思えます。



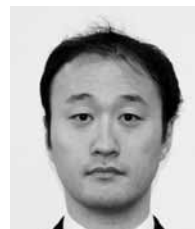
木島 良輔(高安)
① 造園業
② 高安分団の消防団員としてまだまだ力不足ですが、地域に貢献できるようしっかりと気持ちを持ち頑張っていこうと思えます。



義村 智志(高安)
① 自営業
② 諸先輩方の指導のもと、早く一人前の消防団員として活動できるように頑張っていきたいと思えます。



馬谷 康大(南高安)
① 会社員
② 今までいろいろとお世話になってきたので、少しでもお役に立てるように頑張っていきたいと思えます。



服部 巨啓(南高安)
① 公務員
② 有事に備え、地域のためにしっかりと消防活動できるよう日頃の訓練を頑張ります！ご指導いただきますようよろしくお願い致します。



山本 大寛(南高安)
① 会社員
② 地元消防団員になったことを誇りに思い、一日でも早く地域社会に貢献できるように頑張りたいと思えます。



① 会社員
② 地域を守り、地域に貢献できるように、諸先輩方を見習い、消防団員として頑張っていきたいと思えます。



① 会社員
② 先輩方にご指導いただき、早く消防団の一員として力を発揮できるように頑張りたいと思えます。



① 非破壊検査技師
② 仕事柄、留守が多いのですが少しでも皆さんの足を引っ張らないよう、頑張っていきたいと思えます。



① 製菓企業
② 地域を守る消防団員として、一日でも早く諸先輩方に追いつき、皆様方のお役に立てるように頑張りたいと思えます。



① 造園業
② わからないことばかりで、ご迷惑を掛けたいと思いますが、頑張っていきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。



① 自営業
② 地域に参加する中で消防団員としての誇りを持ち、その役割を果たしていきたいと考えています。



平成23年6月12日(日)大阪府立消防学校において、実施された消防団員基礎(初任)教育訓練に広報部員として取材に行きました。消防団員として初めての訓練という事もあり、全員が緊張した趣向の中、開講式が行われました。はじめに研修室において消防団組織や歴史、任免、事故防止等の基礎知識を学び、その後、訓練礼式の実習で午前中は終了しました。午後の部では、実科訓練で放水訓練と器具取扱いの実習が行われ、実際に水を出して行う放水訓練では、初体験と見えて真剣な面持ち

基礎(初任)教育訓練

平成23年5月28日(土)山本分団福万寺分隊の消防機械器具置場の新築工事完成に伴い、開所式が挙行されました。当日は、地元関係者・消防本部・山本分団より多数の方々にご参加いただき、田中市長、田中市議会議長、小角団長の挨拶が行われました。今回の建替え工事により従来の平家建から2階建になり会議室が完備され、駐車スペースが広くなり大幅に設備が充実しました。開所式では、「新しくなった設

消防機械器具置場開所式

で行っているのが印象に残っています。最初は、戸惑いながら訓練を受けていた新団員も、午前午後と教育訓練が進むにつれて、次第に消防団らしくなり、今後の活躍が期待できると感じました。私もこの訓練を思い出し、初心に返って新団員に負けぬ様に頑張っていきたいと思えます。これから、八尾市消防団として共に頑張っていきましょう。大正分団 中川 憲一

福万寺分隊の消防機械器具置場は、地域の各種行事や冠婚葬祭が行われる公民館に隣接しており、地域の防火・防災活動の中心でもあります。今後も、新たな消防機械器具置場を拠点として、地域の消防活動は勿論のこと、地域の様々な活動にも積極的に参加し、地域全体での防火・防災のため精一杯努力していきたいと思えます。山本分団 樋口 徳次





瑞宝準光章受章

平成23年6月元八尾市消防団南西方面隊長の松村勝美さんが瑞宝準光章を受章されました。

松村さんは、昭和35年より消防団員として活躍され、平成15年に62歳で退団されるまで43年間、地域防災活動に携わっておられました。今回の受章は八尾市消防団全体の喜びであり誇りであります。長年にわたり地域防災活動においてご活躍され本当にありがとうございます。

我々も更なる消防団活動の発展に取り組みたいと思います。今回の受章、心よりお祝い申し上げます。

志紀分団 西村 俊彦



幹部視察研修

平成23年6月22日(水)幹部視察研修で、泉南郡熊取町にある原子燃料工業株式会社を視察しました。

最初に工場の概要をビデオで観た後に工場内を案内していただきましたが、一般の工場視察と違い被ばく防止服を着用しなければなりませんでした。

多少の不安はありましたが、ガイド付の案内でこの工場では原子炉で発電するための原子燃料(ウランの粉末をプレスで焼き固めたもの)を加工していること等を大変分かりやすく説明していただき、改めて日本の技術の高さに驚かされました。

また、それと共に環境保全と安全ということについても考えさせられました。

工場視察後は、犬鳴山温泉で、消防団幹部や消防本部の方々と一緒に雑談等を交えながらおいしい昼食をいただき、楽しく充実した一日を過ごさせていただきました。

曙川分団長 松田 悦治



藍綬褒章

平成23年春の褒章に際し、藍綬褒章を受章させていただきましたこと、誠にありがとうございました申し上げます。

尊い章を受章できる器のないこの身に、大変申し訳なく思っております。

受章の機会をいただきましたことは、偏に消防本部職員並びに消防団幹部の皆様、そして、これまでご指導いただきました地元消防団の諸先輩方のお陰と、深く感謝

申し上げます。

3月11日の東日本大震災で多くの消防団員の皆様が亡くなられた状況の中で受章させていただきました身にあまる思いでいっぱいです。

お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りいたしますと共に、いただきました章に恥じないよう、これからの人生においてたくさんの方々、お世話になった方々に微力ながら恩返しさせていただけるよう、心して努めさせていただきます。

最後になりましたが、皆様と共に地域の防災力強化に一層身を使わせていただきたいと思います。

副団長 西野 仁



木村重成祭

本年も6月5日(日)に、八尾市幸町6丁目木村公園におきまして木村長門守重成公を偲ぶ、木村祭りを開催いたしました。

公務でお忙しい中、田中市長を始め沢山の御来賓の皆様に参加していただき、重成公も喜んで下さったと確信しております。

午後からは、阪本方面隊長、嶋野大正分団長がお見えになられ、地域の皆様への告知から戻った私を呼び止められました。

元氣よく返事をし、分団長の前に進み出ると…

「坂根君、ベルトの端はバックルギリギリになって、初任訓練で習ったやる。活動時、ひっかかったりして危なくないように」

ああ、しまった。また、やってしまいました…

今年の教訓、『服装は端正に。』

ちなみに当日の天気は、雨予報にもかかわらず曇りで持ちこたえ、大勢の皆様にお参りしていただきました。

本当にありがとうございました。

西郡分団 坂根 和 男



第34回 八尾河内音頭まつり

今年は8月27日(土)、28日(日)の2日間にわたり八尾河内音頭まつりが盛大に執り行われました。

初日はオープニングセレモニーとして、八尾市内中学校5校の吹奏楽部と八尾市消防音楽隊による演奏が始まり、夕方からは市役所前サザンカ通りで大夜店大会が行われる予定でしたが、途中で近年稀に見る豪雨に見舞われ、セレモニー後の行事は警報が発令されて

中止となりました。

しかし、2日目の大パレードは、晴天の中67団体の人達が思い思いの衣装・踊りで個性溢れるパレードになり大変盛り上がりました。

八尾市消防団は、市内各種団体と分担し、沿道警備の任務に就き、パレードが円滑に進行されるよう、観覧の人達の安全確保に務めながら、暑い中頑張っている踊り子さんにエールを送りました。

日頃の消防団活動とは違い、地域の皆様と一緒に楽しくふれあいできたことと思います。

我々消防団も暑さに負けないよう消防団活動に励んでいきます。

龍華分団 辻村 良 弘
廣岡 勝



厚生事業

平成23年7月2日(土) 関西空港ゴルフ倶楽部におきまして八消会ゴルフコンペが開催されました。田中市長の始球式で総勢62名のラウンドが始まりました。

当日の天候は、小雨交じりの曇り空でしたが、逆にこの時期には快適では涼しく、プレイするには快適だったかなと思います。

私自身、初めて参加させていただきましたでしたが、終始とても和やかな雰囲気楽しい一日を過ごさせていただきました。

優勝は、久宝寺分団の松本圭司さんでした。

南高安分団 西山 勝 博



消防団中級幹部教育訓練

平成23年4月24日(日)大阪府立消防学校において、消防団中級幹部教育訓練に参加させていただきました。

消防団幹部としての職責を自覚し消防団の運営に必要な規律、消防団に期待される役割を習得することがこの訓練の目的です。

まず、安全管理の講義では、極めて危険性の高い災害現場において確実性、迅速性が要求される中、部下の安全確保を特に配慮しなければならず、安全を無視しては、消防の目的は達成できないと学びました。

次の訓練礼式の講義では、礼式



の必要性、個人の規律心の向上、確実軽快な動作及び態度の練成、指導者として必要な能力について学び、各個訓練、敬礼動作、小隊訓練等を勉強させていただきました。

また、人権啓発の講義では、違いを認め合い、お互いを尊重する社会を築くために、様々な角度から個々の人権問題を見つめ直す必要性を学習しました。

今回経験したことを今後の消防団活動に活かし、指導に取り組んでゆく所存です。

志紀分団長 小西 繁 夫



恩智川水防訓練

平成23年4月29日(金)水害時の迅速な対応と消防団員の水防活動の技術向上を図るため、東大阪市の花園中央公園において水防訓練が行われました。

例年八尾市・東大阪市の消防団員が参加していますが、今年も両市の市職員も参加し総勢114名での訓練となりました。

まずは、水防作業の基本となる土のうを作りました。一つの土のう袋には30〜50kgの砂を入れていきます。

そして各小隊に分かれて様々な水防工法が迅速に施されました。

各工法の説明は次のとおりです。

①《杭打積み土のう工》堤防裏のり面の崩壊の恐れがある時や崩壊した時に、のり面に杭を打ち並べ、土のうを積み崩壊を防ぐ。

②《せき板工》堤防が沈下したり、増水が激しい時に、板と杭を用いて防水せきを築き、越水を防ぐ。

③《積み土のう工》洪水によって堤防が沈下した場合や、水が堤防を越す恐れがある時、土のうを積み、越水を防ぐ。

④《釜段工》平場に漏水が発生

した場合、漏水の噴出口を中心に土のうを積み、中に貯えた水と川の水圧を均衡に保つことにより被害の拡大を防ぐ。

いずれも体力と気力が必要な作業ですが、自分たちのまちは自分たちで守るという意識のもと、万が一、災害が発生した時には、この訓練で学んだ工法を実施し災害の軽減に努めたいと思います。

南高安分団 坂本 裕 規



消防団初級幹部教育訓練

平成23年6月12日(日)大阪府立消防学校において、中河内地区支部の東大阪市、柏原市、八尾市の消防団合同で初級幹部教育訓練が実施されました。

当日は天気の良い都合でカリキュラムが変わり、午前は、訓練礼式、ロープ結索、昼食を挟んで午後からは、徒手搬送、教室で安全管理についての講習を受講しました。

訓練礼式では各個訓練と表彰の礼式を教わりました。各個訓練では教官の号令で基本的な動作を反復練習しましたが、ミスも多くあり基本とはいえ、できていないものだと痛感しました。

昨年度から新たに講習に加えられたロープ結索、徒手搬送は、実際の消防活動に実用的で、有効に利用することで活動の幅を広げられるものです。

徒手搬送では、緊急時の際に一人又は二人での搬送方法を教えていただきました。

教官が救急担当の方で、活動服とどび口を利用した簡易担架の作り方や毛布の利便性、最近の救命法など話は多岐に渡りました。昼食後には、無人筒先の放水の

展示もあり、水圧により暴れる筒先とホースの様子を見てみると恐ろしいものを覚え、何が起るかわからない現場での安全管理が難しく大切なものであるということを確認した訓練でした。

久宝寺分団 吉川 明 憲



分団紹介

今回は、大正分団の今西正信部長を紹介いたします。

今西さんは、大正分団の訓練部長で、いつも訓練の時、指導してくれます。

分団の中では、頼れるお兄ちゃん的存在でみんなから信頼されています。

自転車が趣味で、よく遠くまでサイクリングをされているそうです。

また、手先がとても器用で、簡単にホースを巻けるように、「まさお君とまさこちゃん」を作製してくださいました。

そんな今西さんには、一年でも長く消防団活動を頑張っていたきたいと思えます。

大正分団 西山 孝文



● 広報部員名簿 ●

委員長

西部分団

澤田 吉行

副委員長

南高安分団

竹澤 寛

志紀分団

西村 俊彦

委員

久宝寺分団

吉川 明憲

西部分団

高田 卓

八尾分団

坂根 和男

龍華分団

鈴木 卓也

大正分団

廣岡 良弘

曙川分団

辻村 卓也

南高安分団

杉原 弘恭

高安分団

野中 健一

山本分団

松浦 洋憲

志紀分団

坂本 裕規

井口分団

寺内 俊樹

榎口分団

樋口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

井口分団

井口 亮仁

編集後記

皆様のご協力のおかげで無事第28号発行となりました。記事の提出から構成までスムーズに進み本当にありがとうございました。

澤田 吉行

東日本大震災へのボランティア活動報告

八尾市消防団の中から自主的にボランティア活動に行かれた方もいらっしゃいます。その方々の活動を報告させていただきます。

平成23年3月11日(金)に、国難と呼ばれるほどの大きな地震がありました。

連日の報道を見てみると、「俺もなにか、お手伝いしたい」と強く感じました。

河野分団長、緒方部長に相談すると、いろいろ現地の情報を集めてくださり、貴重なアドバイスもいただけました。

4月5日に、まず八尾市社会福祉協議会へ伺いボランティア活動保険に加入し、水・食糧等を軽トラックに積み込みました。深夜になり、いよいよ出発です。

目指すは、宮城県石巻市。翌日の6日19時過ぎ、やっと古川インター手前のパーキングエリアに到着し、水もトイレもあるここで仮眠をとりました。

被災地を実際自分の目で見ると、これが同じ日本の出来事かと思うような状態でした。

しかし、被災された方々の多くは、とても明るく接して下さり報道されている日本人の美徳を肌

で感じました。

実際の作業は、小学校の実習教室と校舎の廊下、体育館の泥出しと掃除をしました。

お昼前、教頭先生からのお話の中で「4日前は復旧は無理と思いましたが、どんどん綺麗になって希望が湧いてきました。ありがとうございますございました。」との言葉に、みんな感動しました。

また、地元の大学生も参加しており「遠くから、宮城のために来て下さってありがとうございます」と、言葉をいただきました。

本当に、暖かい人たちと一緒に行動できて楽しかったし良かったです。

そして、石巻で明るく接して下さった皆様、大阪で支えて下さる諸先輩の皆様、ありがとうございます。

復興には、まだまだ5年・10年という月日が掛かると聞いていますが、辛くても向き合って、少しでもお手伝いできたらいいなと思っています。

西郡分団 坂根 和男



平成23年5月1日から4日まで私は宮城県石巻市のある避難所に行ってきました。3月11日の地震から約7週間、現地ではゴールデンウィークということもありボランティアが溢れると言われていた時です。

活動の依頼の中身は「避難所の皆さんに大阪のたこ焼きでも焼いて元気づけてほしい」というものでした。現地まで車で片道12時間、3日間避難所の高校で被災者の方々と一緒に寝泊りさせていただき、貴重な体験もさせていただきました。実際、皆さんに、たこ焼きを食べていただいたのは2日間でしたが、最終日には特に津波の被害の大きかった地域へも案内していただき、自然の力の恐ろしさを感じました。

残念ながら、現地の消防団の方々とお話できませんでした。が、現地の方から「生きるか、死ぬか本当に蜘蛛の糸を掴むかの様だった」等の話をお聞きすることができました。

また、ある地域は、スーパー堤防があり「まさかここまで津波は来ない」と住民誰もが思っていたため、多くの方がお亡くなりになり、一方堤防はないが住民誰もが「何かあれば高台に逃げる」とい

うことが徹底されており、ほとんど犠牲者がでなかった地域もあったそうです。

この話を聞き、マニュアルづくりやハード面の充実も大切ですが、やはりいざ災害が起こった時にどのようなに対応するかは、住民一人ひとりの意識が大切であると思いました。

我々消防団もこのような災害に對して何が出来るか、日頃から何をしておくべきか、改めて考えさせられた貴重な体験でした。また機会があれば支援に行きたいと思えます。

久宝寺分団 岡井 淳治

